

教科名 (科目名)	理数数学 理数数学Ⅱ・理数数学特論	履修学年	3 年	学科	フロンティア(文科) 科
		単位数(週当たりの授業時数)		6	単位

◆何ができるようになるか(教科・科目の目標)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。  
 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能に習熟するようにする。  
 (2) 事象を数学的に捉え、論理的・統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を伸ばす。  
 (3) 数学のよさを認識し、数学を積極的に活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、事象を数学的に探究しようとする態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 事象を数学的に表現・処理する力や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察・表現したり、思考の過程を振り返り多角的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
評価方法	○定期テスト ○単元テスト ○小テスト(適宜)	○定期テスト ○単元テスト ○レポート(適宜)	○単元テスト ○課題・レポート ○授業態度など

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定(概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか(教材等)

【教科書】  
 新編 数学C(数研出版)  
 新編 数学Ⅲ(数研出版)

【副教材】  
 チャート式解法と演習Ⅰ+A、Ⅱ+B、C(数研出版)  
 システム数学演習 精練(啓林館)

◆どのように学ぶか(授業方法、学習方法)

○授業は教科書中心の内容とし、復習・定着を図る。また、  
 実力養成のため、副教材を利用した演習を行う。  
 ○授業の復習を目的としたClassiを利用したレポートなども課す。  
 ○予習・授業・復習の学習サイクルの確立と思考過程を大切に  
 した学習習慣の確立を目指す。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	○空間ベクトル（数学C） ○複素平面（数学C） ○式と曲線（数学C） ○関数（数学Ⅲ） ○極限（数学Ⅲ） ○微分法（数学Ⅲ）	単元テスト	単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元テスト</li> <li>・日々課題</li> <li>・レポート</li> <li>・授業態度</li> </ul> などを 総合的に評価
	5月		単元テスト	単元テスト	
	6月		単元テスト	単元テスト	
	7月		期末考査	期末考査	
2 学 期	8月	○演習（復習）    ○演習（共通テスト）	単元テスト	単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元テスト</li> <li>・日々課題</li> <li>・レポート</li> <li>・授業態度</li> </ul> などを 総合的に評価
	9月		単元テスト	単元テスト	
	10月		単元テスト	単元テスト	
	11月		期末考査	期末考査	
	12月				
3 学 期	1月	○演習（二次試験など）	単元テスト		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元テスト</li> <li>・日々課題</li> <li>・レポート</li> <li>・授業態度</li> </ul> などを 総合的に評価
	2月				
	3月				